

# 市長への手紙

－市民の意見箱－

2025年10月分

件名	ご意見・ご提案	回答	担当課
大通の道路陥没について	大通のパチンコ屋裏の道路に穴がありました。観光客も歩く場所だと思うので、早急に修復してほしいです。	御指摘の箇所につきましては現地を確認し、通行に支障を及ぼすと判断した箇所について部分的な補修を実施いたしました。  道路の補修については、緊急性が高い箇所は応急措置等を実施しているところですが、今後も安全確保が図れるよう、優先順位を見極めながら、早期の補修対応に努めてまいります。	建設部 道路管理課
子育て支援について	子育て支援として、給食費の無償化や多子世帯への経済的な支援を検討いただきたいです。少しでも月の出費が減らせれば、その分、子どもの教育にお金が回せると思うので、世帯人数に合わせた支援をしていただきたいと思います。	学校給食費の無償化については、将来の給食費無償化につなげようと、令和7年度は、給食の安定的な提供の確保と保護者負担の軽減を図るため、各小中学校等に対し、国の交付金を活用して給食食材費の補助を行いました。昨今の物価高騰が続く中、まずは各家庭の給食費値上げの回避に努めたところです。  今後は、現在、国において小学校の給食無償化に向けた動きがあることから、動向を注視しながら、本市としての給食費無償化に向けた取組について検討してまいります。  市におきましても、人口減少対策として、出生数の維持・増加に向けた取組が重要と考えており、妊娠、出産、子育て支援などの自然減対策に力を入れて取り組んでおります。その中でも、多子世帯への経済的支援としては、第2子以降の保育料の無償化、保育所等を利用していない在宅で育児をしている世帯に対しては「子育て応援在宅育児支援金」の給付や小学校就学後の放課後児童クラブの利用料の給付等を実施しております。  国におきましては、多子世帯に対する児童手当の増額や大学の無償化などが進められておりますが、今後におきましても、保護者の皆様の御意見を伺うとともに、多様化する子育てニーズを的確に捉えながら、子育てしやすく、子育てに優しいまちづくりに取り組んでまいります。	教育委員会 学務教職員課    子ども未来部 子ども青少年課 子育てあんしん課
体育館の予約、確認について	乙部体育館や飯岡体育館などを使用したいのですが、webでの予約や予約状況の確認ができず、簡単に利用できない状況なので、webで予約等ができるようにしてほしいです。	市のスポーツ施設への予約システム導入につきましては、利用者の利便性の向上につながるものと考えておりますので、今後、導入について検討してまいりたいと存じます。	交流推進部 スポーツ推進課
男性被害者向けDV防止啓発講座の開催について	DVの被害者は、女性だけではないですし、近年、男性被害者も増えているようなので、その現状等を広く知ってもらうためにも男性被害者向けのDV被害者支援及び啓発を目的とした講座を盛岡市で開催してほしいです。	DV防止啓発講座（男性被害者向け）の開催については、スケジュール等の都合により今年度の開催はできませんが、社会のニーズを踏まえながら今後の参考として検討させていただきます。	市民部 男女共同参画推進室

# 市長への手紙

－市民の意見箱－

件名	ご意見・ご提案	回答	担当課
向中野の公共交通機関について	向中野字幅周辺は、急速に住宅地等が拡大していますが、公共交通機関の整備が追いついておらず、バス停も駅も遠いです。また、この地域では、企業誘致が進められており、住む人だけでなく、働く人も増えているので、早急な公共交通対策が必要だと思えます。  公共交通機関が充実すれば、地域の利便性向上だけでなく、自家用車の利用が減り、交通渋滞対策、環境対策にもつながると思います。	鉄道駅の新設につきましては、『盛岡市総合交通計画』や『もりおか交通戦略（第二期）』において、ＪＲ仙北町駅・岩手飯岡駅間に新駅設置の可能性を検討することを位置付けており、引き続き、関係団体と相談してまいります。  路線バスにつきましては、『盛岡都市圏地域公共交通計画』でまちづくりの進展に伴う新たな移動需要が見込まれるエリアや、商業施設等の集客施設の新設により移動の流れが変化することが想定されるエリアにおいては、まちづくりの施策と連携しながら、ネットワークの形成を図ることとしております。	建設部 交通政策課
ＪＲ仙北町駅西口連絡通路の危険箇所について	ＪＲ仙北町駅西口の連絡通路の天井部分が劣化し、落下の危険があるので、修繕をお願いします。	御指摘の箇所につきましては、現地を確認しており、部材落下の危険性が高い箇所について、安全確保を目的とした部分的な補修を令和７年10月21日に実施いたしました。  道路施設の補修については、緊急性が高い箇所の応急措置等を実施しているところではありますが、限られた予算の中で安全確保が図れるよう、今後も優先順位を見極めながら、早期の補修対応に努めてまいります。	建設部 道路管理課
熊対策について	近年、岩手県内ではツキノワグマによる人身被害や死亡事故も発生しており、盛岡市においても、今後同様の事態が起こる可能性が高まっていると思います。  つきましては、以下の対策について早急に検討いただきたいです。 1. クマ撃退スプレーの市民への配布、又は購入補助制度の創設 2. クマの出没ルートに木酢液など忌避資材の設置支援 3. AIカメラやセンサーによる監視体制の強化 4. クマ出没情報のリアルタイム共有システムの構築 5. 学校・保育施設への防護装備の配備と避難訓練の実施 6. 熊の個体数管理  また、被害が発生する前に、特に自転車通学や徒歩通学の生徒を守るための対策も早急をお願いしたいです。	1. 山に入る際に音の出るものや忌避スプレーを携行することは、クマによる被害を防止する有効な手段であります。配布対象や補助件数等、検討しなければならない点が多いことから、他の自治体の取組や、市民のニーズ等を踏まえながら、今後の対応について研究を進めてまいります。  なお、盛岡広域振興局保健福祉環境部において、クマ鈴・クマスプレー貸与事業を実施しております。  2. クマの出没ルートについては、令和５年度に岩手大学と共同研究を実施しており、当該研究の結果を踏まえながら、出没の抑制に向けた対策を継続してまいります。  3. クマ等が市街地に出没しないための取組としては、クマ等を誘引する物の除去、管理に関する周知・啓発の強化や、クマ等が出没した際の適時・適切な情報発信等の対策を継続しておりますが、AIカメラやセンサーによるクマの監視等、ICTを活用したクマ対策につきましては、他の自治体の事例を研究してまいります。  4. 市ホームページにおいて、クマの出没状況を地図上でお知らせするなど情報発信を行っているほか、10月27日より県が運用している「いわてモバイルメール」を活用した出没情報の配信を開始したところですが、市民の皆様に対し、クマの目撃情報の共有をより効果的に行うための方法について、他の自治体の事例を研究しながら検討を進めてまいります。	環境部 環境企画課

# 市長への手紙

2025年10月分

－市民の意見箱－

件名	ご意見・ご提案	回答	担当課
		<p>5. 学校への防護装備の配備についてであります。これまでの、各学校の地域性や実態に応じて学校の判断でクマ用の撃退用品などを装備していた例がありました。今後におきましては、昨今の市内での出没状況を踏まえ、各学校での防護装備の在り方について、改めて研究してまいります。</p> <p>また、併せて、地域や警察と連携したクマの出没情報の共有や迅速な安全確保の対応の充実を図りながら、各学校への指導を徹底してまいります。</p> <p>避難訓練の実施につきましては、従来から各校の実態に応じて自然災害や不審者を想定した避難訓練を実施しておりますが、今後におきましては、警察等の専門家と連携したクマに係る避難訓練も選択肢の一つとして検討するよう助言してまいります。</p> <p>保育所等への防護装備の配備につきましては、県ホームページ等の情報を参考に、クマ鈴やクマ撃退スプレーなどの事前準備に関する助言を行うほか、子どもの安全を最優先に確保する観点から、園庭での活動やお散歩など屋外活動時の注意喚起を各保育所等に対して行うとともに、クマ出没時の屋内退避や安全な場所への誘導方法について、情報共有を図ってまいります。クマ出没時の対応は保育所等単独では困難な場合が多いため、庁内の連絡体制を徹底し、目撃情報が寄せられた際には速やかに全保育所等へ情報を伝達することで、人身被害の未然防止に努めてまいります。</p> <p>また、避難訓練の実施につきましては、各保育所等においては、地震や火災などの様々な災害を想定し定期的に実施しておりますが、今般の市街地や農村地域の住宅近くにもクマの出没事案が発生している状況を踏まえ、クマ出没時の対応についても、訓練の一環として備えるよう各保育所等に注意喚起してまいります。</p> <p>6. クマの個体数管理については、指定管理鳥獣捕獲等事業実施計画に基づき、岩手県が実施しています。当該計画は、毎年度、関係市町村に協議の上、策定することとされていることから、本市における適切な個体数管理に資するよう意見を発出し対応してまいります。</p> <p>自転車通学や徒歩通学の生徒を守るための対策については、各学校では学区内でクマに係る目撃情報があった場合には、保護者による送迎をお願いしたり、集団で人通りの多い道路を通るように指導したりするなどの対応をしております。今後におきましても、引き続き保護者や地域の方々と連携し、子どもたちが安全に登下校できるように努めてまいります。</p>	<p>教育委員会 学校教育課</p> <p>子ども未来部 子育てあんしん課</p> <p>環境部 環境企画課</p> <p>教育委員会 学校教育課</p>

# 市長への手紙

2025年10月分

－市民の意見箱－

件名	ご意見・ご提案	回答	担当課
インフルエンザ予防接種について	インフルエンザの予防接種について、子どもが多くなるほど経済的負担も大きくなるので、第2子、第3子以降の補助を増やしてほしいです。	本市におきましても、子育て世帯への経済的支援の充実は重要であると認識しており、これまでも予防接種費用の一部助成を通じて、子どもたちの健康保持と保護者の負担軽減に努めてまいりましたが、子育てにかかる経済的負担が増している中で、特に複数のお子様を育てておられる御家庭においては、予防接種費用が家計に与える影響も大きいことと存じます。 しかしながら、限られた財源の中で、すべての子育て世帯に公平な支援を行う必要があり、「世帯単位」での加算的支援は制度設計上の課題もありますことから、現時点では補助金の増額は困難であり、現行制度を維持する方針としております。 今後も、子育て世帯の皆様の声を丁寧に向いながら、より効果的で持続可能な支援の在り方について検討を重ね、皆様の健康と安心な生活を支える施策の充実に努めてまいりますので、御理解のほどよろしくお願い申し上げます。	保健所 指導予防課
障がい者求人・障がい者雇用について	障がい者の求人や雇用は、求人情報を調べても見つからない状態なので、少ないと思いますし、求人があったとしても事務系の仕事が多いようなので、事務系以外の求人も増やしてほしいです。もっと働きやすい環境をつくってほしいと思います。	障がいのある方の雇用について、件数や種類を増やしてほしいとの御要望につきまして、市としては、民間の事業者に対し、直接障がいのある方についての求人内容を要請できるものではないことを御理解願います。 一方で国では、40人以上の従業者を雇用する企業に対し、雇用者数に占める障がいのある方の割合について目標を定め、その達成を義務としています。現在、その割合は2.5%ですが、2026年7月からは2.7%に引き上げられます。この「障害者雇用率」はこれまでも引上げを継続してきていることから、今後も障がいのある方を対象とする雇用は増え続けていくことが予想されます。 市では、障がいのある方を対象とした障害福祉サービスの一環として、就労の継続や移行について、様々な支援を行うサービス事業所を御案内することが可能です。一般就労がなかなかうまくいかない方については、選択肢の一つとなると考えられることから、お困りの際は障がい福祉課に御相談ください。	保健福祉部 障がい福祉課

# 市長への手紙

－市民の意見箱－

件名	ご意見・ご提案	回答	担当課
熊への対策及び緊急銃猟について	<p>クマの出没により、安心して外出することができなくなっています。市街地や集落に出没したクマに対して、猟友会の方が撃てる状況が確保できるのであれば、緊急銃猟を実施すべきだと思います。</p> <p>また、クマの個体数が増えていたり、山のえさが減っているのであれば、子熊も含めて一律で駆除する方針とすべきだと思います。</p>	<p>本市では、クマが市街地に出没した際に迅速かつ適切に対応するため、「盛岡市ツキノワグマ等市街地等出没時対応マニュアル」を策定しており、今般制定された緊急銃猟については、令和7年9月1日付けで同マニュアルを改訂し、本市における運用方法等を定めたところです。</p> <p>市街地や集落等に出没したクマについては、原則として、岩手県の方針に基づき、住民と対応従事者の安全を確保しつつ山林の方面への追払いにより対応しており、追い払うことによって住民等に危害が及ぶ可能性がある場合に捕獲することしております。また、市街地に出没した個体は、移動経路の学習による市街地への再出没の蓋然性が高いことから、捕殺を前提に対応しております。</p> <p>現在盛岡市では、毎日寄せられる多数のクマの目撃情報に対し、現地確認、周辺パトロールと巡回広報、市民への情報発信を行っており、クマを確認した場合は、市民の安全確保を最優先に、警察、鳥獣被害対策実施隊員その他関係機関と緊密に連携して、捕獲の実施に取り組んでいるところです。</p> <p>市といたしましては、市民の生命、身体、財産を守ることに万全を期すため、出没情報への対応を最優先に、職員一丸となり中断なく取り組んでおりますことから、頂戴いたしました御要望等は貴重な御意見として承ります。</p>	環境部 環境企画課
市庁舎周辺の熊出没について	<p>市中心部にクマが出没しています。中津川の河川敷で農業まつりを開催したようですが、クマが出没しているときにこのようなイベントを開催する際には、細心の注意が必要ですし、中止の検討も視野に入れるべきだと思います。</p>	<p>令和7年度の盛岡市農業まつりの実施に当たりましては、中津川の川上、川下に監視の職員を配置し、万が一、熊が出没した際には、速やかに来場者や出店者が避難できる体制を整えた上で開催いたしました。</p> <p>また、出店事業者にはゴミの持ち帰りを徹底していただき、農業まつり初日終了後には、各テント内を含め、熊を誘引する可能性のある物品が残っていないことを確認するなど、例年以上に注意を払って対応しております。</p> <p>住民の皆様が安心して暮らせるよう、関係機関と連携しながら、より一層の対応に努めてまいりますので、御理解賜りますようお願い申し上げます。</p>	農林部 農政課

# 市長への手紙

－市民の意見箱－

件名	ご意見・ご提案	回答	担当課
クマ対策について	クマも山の方へ追いやってもまたやってくると思いますし、人に慣れてさらにエスカレートすることも予想されるので、クマはすぐに駆除すべきです。野生動物よりも人の安全を優先してほしいです。	現在盛岡市では、毎日寄せられる多数のクマの目撃情報に対し、現地確認、周辺パトロールと巡回広報、市民への情報発信を行っており、クマを確認した場合は、市民の安全確保を最優先に、警察、鳥獣被害対策実施隊員その他関係機関と緊密に連携して、捕獲の実施に取り組んでいるところです。  毎日、クマの出没状況やその対応などに関し、市民の皆様をはじめ、市外・県外の皆様からも、多数の応援、御意見やお問合せを電話や電子メールでお寄せいただいております。  市といたしましては、市民の生命、身体、財産を守ることに万全を期すため、出没情報への対応を最優先に、職員一丸となり中断なく取り組んでおりますことから、頂戴いたしました御要望等は貴重な御意見として承ります。  何とぞ、御理解と御協力を頂きますようお願い申し上げます。	環境部 環境企画課
中学校の給食早期実現に向けてについて	市内には、給食が実施されていない中学校があるので、近隣の小学校の給食室で中学校分の給食を作り、届けてはいかがでしょうか。	御提案いただいた「小学校の給食室で中学校分の給食をつくる」方式につきましては、給食を提供する小学校において、搬送用トラックへ給食を積み込むためのプラットフォームを新たに整備するため、大規模な改修が必要となるほか、食物アレルギーや異物混入、感染症対策などについて、中学校まで対象を拡大して対応する必要が生じるなどの課題があることから、実現は難しいものと考えております。  中学校への給食提供については、「全員に同じ給食が提供される方式」での完全給食の実施を目指し、新たな学校給食センターの整備を進めているところであり、早期実現を目指して、取り組んでまいります。	教育委員会 学校教職員課
盛岡駅西口における一般車進入禁止の見直しについて	盛岡駅西口1階のロータリーは、かつては一般車の乗降場がありましたが、現在は、一般車両進入禁止となっています。  マリオス前の乗降場は、多くの人が利用し、休日などは停められないこともあるので、ロータリー内の乗降場の利用を再開してもらえれば混雑の緩和につながると思いますし、乗降スペース付近は二車線分の道幅があるので、タクシーなどの邪魔にもならないと思います。	盛岡駅西口交通広場1階ロータリーへの一般車の進入規制の見直しにつきましては、長時間の路上駐車の防止対策が課題であり、ロータリーの有効活用と交通秩序の維持の両立を図る必要がありますことから、他都市の事例も参考にしながら、今後の適正な運用方法を検討してまいります。  なお、当面の対応としまして、盛岡駅西口地区にある民間駐車場（20分以内の利用無料）の利用の周知を図りながら、乗降の利便性を確保しつつ、交通混雑の緩和を図ってまいります。	建設部 道路管理課
大通の呼び込みについて	大通2丁目の辺りで呼び込みの方々が増え、雰囲気が悪くなっていると思うので、調査の上、呼び込み行為を禁止してほしいです。	客引き行為等を禁止する区域については、警察、商店街とも協議をした結果、実際に客引き行為が確認されている場所を指定したところです。  今回お寄せいただきました情報は、関係機関において共有するとともに、巡回・指導等の参考とさせていただきます。	市民部 くらしの安全課